

経田っ子

思いやりいっぱい
 学びいっぱい
 元気いっぱい

10月の行事予定

1	日	区民体育大会
2	月	血液検査(5年)
3	火	常任役員会
4	水	学習参観・学校保健委員会
5	木	給食訪問(3年)
6	金	地区探検ウォークラリー集会 委員会活動
7	土	
8	日	
9	月	体育の日
10	火	
11	水	研修会のため13:50下校
12	木	
13	金	舞台芸術鑑賞会(5・6年)
14	土	学校周辺環境整備
15	日	
16	月	研修会のため13:10下校
17	火	ALT外国語活動(3・4年) 常任役員会
18	水	尿検査
19	木	東部中学校 オープンスクール(6年生) いのちの授業(5年生)
20	金	クラブ活動・広報委員会
21	土	市民文化祭
22	日	市民文化祭
23	月	
24	火	ALT外国語活動(1年) 就学時検診 (1~4年・6年 12:45下校)
25	水	
26	木	ALT外国語活動(2年)
27	金	
28	土	経綸祭前日準備 うまいもん委員会
29	日	経綸祭 1~4年 14:20下校 5・6年 14:50下校
30	月	振替休業日
31	火	

大きな行事「運動会」が、無事終わりました。一番印象的だったのが、応援です。応援練習では、日に日に団結力が高まっていくのが分かり、練習を重ねるごとに、声には力強さ、表情にはたくましさが増し、赤、白よきライバルとしてお互いの力を高め合う姿が伝わってきました。当日の応援合戦も、その積み重ねた練習の様子が分かるすばらしいものであったと思います。改めて経田っ子のパワーに感動しました。

運動会 9月16日(土) 「全力応援」



準備・後片付け、親子活動への参加等、ご協力ありがとうございました。

ふるさと発見バス(2年・4年・5年)

昨年まで4年生が対象であった市の事業、「ふるさと発見バス」が、今年度2年、5年にも拡充し、実施されています。この事業は「ふるさとに誇りと愛着をもち、心豊かに生きる子供の育成」を目的に行われます。この事業のおかげで、小学校6年間で魚津市内の公共・文化施設等をすべての小学生が見学することになります。経田小学校でも、9月20日に5年生、9月27日に2年生がそれぞれ見学に行きました。



5年 埋没林博物館にて

2年 図書館 「初めて見る書庫」

4年生は10月20日 東山円筒分水槽などを見学します。

夏休みの自由研究



ほとんどの児童が何らかの自由研究に取り組んできました。素晴らしいことです。保護者にとっては夏休みの大きな宿題かもしれませんが、学校を回ってみると身の回りの物や現象から疑問に思ったことについて、調べようと思う気持ちは科学だけでなく、生活を豊かにするうえでも大切です。それぞれのテーマを見ると、低学年は「かぶとむしのかんさつ」「ありのこうぶつしらべ」「いしだいのかんさつ」など身近な生き物について調べる研究が多いです。中学年は「シャボン玉の光」「つかめる水をつくろう」「りんごの変色」など身近な自然現象をテーマにした研究が多いです。高学年は「食材産地調べ」「ダンスの歴史」「せりこみ蝶六調べ」など分野も範囲も広がってきて、子供の成長に伴い興味関心も変わることが実感できました。もしも私が自由研究をきなさいと言われたら・・・テーマは「老化防止に効くものは何だ？」かな。実は業務員のNさんは昨年5月から学校で最高・最低気温を調べてグラフ化して、「昨年より平均1℃位高くなっている」などよく話してくださいませ。すごい自由研究です。

インターネットで調べれば魚津市はパッとわかるかもしれませんが、ピンポイントの場所を調べて記録する楽しみは、実際にやってみないとわかりませぬ。

ザクッと稲刈り



5年生が学校田でたわわに実った稲を手刈りしました。コンバインだと15分ほどで終わる作業を30人で1時間しても終わらなかつたので、機械化の良さを実感したと思います。子供たちは初めての経験で、「ザクッと切るのが気持ちよかった」「楽しかったけど疲れた」などの感想を言っていました。応援の女性にどう

でしたかと伺うと、子供ら田んぼに入るや「暑い」と言うので「何かお茶とか持ってこんだん？」と尋ねたら「何かもらえるとって！」の返事(笑)。今の子です。千歯こきでモミがサクサクっととれる脱穀も体験しました。11月には、田植えや稲刈りなどでお世話になった中村さんやJAの方々をお招きして、米作りの発表会を兼ねて「ジャンボのり巻き」を作ります。



叱り方考くパート1

2学期に入り運動会も終わり、子供たちは学習、市民文化祭、経綸祭など実りの秋に向けてこれから叱咤激励を受けながら、頑張る毎日が続きます。「ほめて子供を伸ばす」のが私の信念ですが、しなければいけないことをしない時やさぼっている時は叱ってさせなければならないこともあります。ご家庭でも同様のことがあると思います。千葉大学名誉教授の多胡輝先生の「叱る！知恵」(海竜社)には、なるほどと思える叱り方が紹介されていました。※は私のコメント



① 「こうしなさい」「さっさとやりなさい」より「どうしたらよいか」できる方法を一緒に考える。

※本気で一緒に考えよう、何とかしたいという思いが愛情となり、子供の自主性も育つんですね。

② ダラダラ、グチグチでなく、ポイントを雷で伝える。

※女性より男性向き？ただし雷だけで何を叱られたのか分からないのでは意味がないので、最後に確認。

③ 「大声で叱る」より「小さな声でゆっくり叱る」

※叱る前に大きく深呼吸するとできます。でも、短く叱らないとだんだん元の声に戻ってしまいます。

④ 叱る言葉を変えてみる。時には他人に叱ってもらう。

※もう何回も聞き飽きて耳にタコができたわ！よく聞くセリフ。学校でも違った先生から注意されると効くこともありますね。叱られるツボにはまるということかな。

来月は、いけないことをした時、善悪の判断が間違っている時にどんな対応をしたらよいか考えますね。